いつまでも満足できる家造り

企業・事業所訪問リポート
アグレッシブとちぎ
企画・制作 下野新聞社営業局

7月に完成した宇都宮支店。ビル内に設置された展示場は必見＝宇都宮市

（株）小堀建設

県内には前向きで優良な企業が数多くあります。「アグレッシブとちぎ～企業・事業所訪問リポート」では企業や事業所の取り組みや旬な話題などを紹介します。今回は「（株）小堀建設」（本社・矢板市）です。1972年に創業した同社は「小堀建設と関係のあるすべての人を幸福にする」を経営理念にしています。7月に宇都宮支店を新築しました。同社はお客さまがいつまでも満足できる、世界にたった一つだけの家を提案する、少数精鋭のプロフェッショナル集団です。

Onlyone
世界でたったひとつの家を

トップ目指し 地場産業けん引

常務取締役
小堀 彰久氏（37）

「世界でたったひとつの家を」とことん追求しているのが私たちです。住宅はお客さまにとって一生に一度の大切な買い物です。計画・建築中、どれだけ親身になって関わりあえたかが完成した住宅の満足度につながるのだと思います。

年間150件という着工件数に加え、その8割強がご紹介や口コミで支えていただいております。よきご縁に恵まれたことが私たち一番の財産です。

住宅業界は、日々新しい商品を提案していかなければなりません。他社を研究し、いいところを参考にして、わが社独自の付加価値をつけ加えて提供しています。お客さまはお一人お一人違ったニーズ・ウォンツがありますから、プロフェッショナルとしてお一人お一人お客さまにあった提案をしています。私たちにとって最大の競争相手は、同業他社ではなく、絶えず変化してやまないお客さまの要求なのです。

社員（仲間）は現在49名。少数精鋭で大手メーカーに比肩するまでに成長してきました。お客さまのオンリーワンの家造りを目指すだけではなく、私たち自身もオンリーワン企業を目指さなければいけないと思っております。本物のオンリーワンとは、その業界でトップになった時や、トップを目指す過程の中で出来るものだと思います。そのためにはトップを目指す覚悟ですと話し、地場産業の代表として業界をけん引する決意を表します。

社長は「住宅を造ることを通じて生きる人生の哲学を学びたい！」と言います。建て終わったお客さまのご自宅に年2回訪問させていただいております。創業当時のお客さまですと40年近くにもなります。お客さまとのつながりが、絆が、私たちを成長させ、勇気づけてくれます。

工夫重ね快適住宅提案

設計部長
関口 一範氏（45）

「さらっと生活できる家」を設計することを心掛けている。間取りの提案だけでは、売りにはならないといいます。「お客さまの要望に合わせた提案はもちろんのこと、大切なことは、住む人の感覚になって住宅を提案することです」とお客さま一人一人の感覚も大切にする、本物の住宅にこだわります。

「新居で実際に生活を始めて気になることは、実は暖かさや音なんです」と言います。暖かさを追求するために炭を練り込んだ断熱材や、音をできるだけ遮断するために4層構造の床材などを独自開発し成果を上げています。

現在、同社が積極的に推進めているコンセプトが自然環境を利用する住宅です。「住宅は敷地によって、ある程度、設計が限定されます。光の入り方や風の流れ方は人間にはどうすることもできません。しかし、工夫次第で敷地の立地条件を生かした、快適な住宅を造ることができます」。そこでの提案力が同社の強みだと自信をみせます。満足する住宅を造っても工夫次第で敷地の立地条件を生かした、快適な住宅を造ることができます」。そこでの提案力が同社の強みだと自信をみせます。満足する住宅を造っても

現場で随時 要望に対応

建築部長
大金 俊彦氏（46）

「ほとんどのお客さまが、初めて家を建てる人です。図面を見て、実際に立体になった施工を想像できる人はあまりいません」。平面図面と立体の現物のイメージのずれをなくし、お客さまの要望通りに現場で実現することを心掛けています。

同社では、施工の進ちょく状況に合わせて、お客さまに立ち会ってもらい、細かな仕様の確認を行います。実際に工事現場を見ながら打ち合わせができるので、お客さまは少しずつ完成のイメージが分かってくるようです。ほとんどのお客さまが、ご自身のイメージに合うように変更をします。他社と比べれば、工期は若干長くなってしまいますが、この現場でのきめこまかな対応が、住み始めてからの満足度を左右することにもなると思います」と、オンリーワンの住宅の提案に意気込みます。

ベテランの大工が多く、同社との信頼関係も強固です。「物を造るのが好きな大工さんばかりです。わたしたちもいろいろ教わることが多いですね」と全幅の信頼を寄せています。

「わたしたち現場は、工事の精度を見ているだけでは駄目なんです。お客さまの気持ちの変化や、20年先、30年先の生活も想像して、『住んでて良かった』と言ってもらえる家を提案していきます」

社員一丸で真剣家造り

総務部
小嶋 幸恵氏（28）

宇都宮支店の総務を担当し、入社2年目。同社の社員は「皆さん、より良い家造りのために、まじめにコツコツ仕事に取り組んでいます。そして、社員一人一人が家造りに対する意識が高い」と言います。

「打ち合わせ室で、お客さまと応対している社員の姿勢を見ていても、真剣にうらうためには、お客さまとのコミュニケーションが最も大切だといい、雑談も大切にしております。「物を造るのが好きな大工さんばかりです。わたしたちもいろいろ教わることが多いですね」と全幅の信頼を寄せています。

「わたしたち現場は、工事の精度を見ているだけでは駄目なんです。お客さまの気持ちの変化や、20年先、30年先の生活も想像して、『住んでて良かった』と言ってもらえる家を提案していきます」

お客さまの人生を考え、いい家造りを提案しようとする誠実さを感じます」

小さなお子さまを連れた家族が訪れることも多い同支店。お客さまが打ち合わせに集中できるように、お子さまと一緒に過ごす機会もあります。新社屋には広々としたキッズスペースも完備されており、子ども連れでも安心して来店できます。「打ち合わせが無事終了して、お帰りの際にお客さまの笑顔を見ると、これからどんな家造りになるのか、私自身も楽しみになります」と笑顔をみせます。

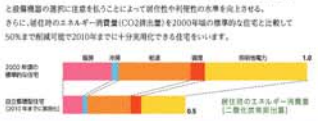
営業と設計、現場の社員を裏方として支えることが仕事です。

小堀建設は「エコハウス」づくりに取り組んでいます。

エコハウスを解りやすく説明すると、古民家がそうであるように、無垢の木を現して使い、そして自然素材で仕上げるといった健康とか自然循環に無理をかけない家造りに、さらに省エネといった環境技術を上手く取り入れ、エネルギーロスの少ない快適な住環境を演出するという、地球や人間に配慮した家造りです。

自立循環型住宅設計のための13の手法

自立循環型住宅とは



宇都宮エコハウスデータ

CASBEEとは

CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）は建物環境性能で評価しランク付けする手法です。
Qが高くLが低い建築物が高い評価を得ることができます。

BEE = Q（環境品質）／L（環境負荷）

宇都宮エコハウスCASBEE 評価

小堀建設に関する詳しい情報はお電話にてお気軽にお問い合わせください。

宇都宮支店 tel.028-614-5031　矢板本社 tel.0287-43-3644

KOBORI 株式会社 小堀建設